

Japan Geoscience Union Meeting 2011

(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



U004-02

会場:304

時間:5月26日 11:05-11:25

国際科学会議 (ICSU) 世界データシステム ICSU World Data System

渡辺 堯^{1*}

Takashi Watanabe^{1*}

¹ 名古屋大学太陽地球環境研究所

¹ STELAB, Nagoya University

ICSU (国際科学会議) では、国際地球観測年 (IGY) 以来 50 年以上にわたって活動してきた World Data Center (WDC) と Federation of Astronomical and Geophysical data-analysis Services (FAGS) とを統合して、ICSU 傘下の新しい国際データセンター組織として、2008 年 10 月より World Data System (WDS) を設置した。WDC と FAGS は主に天文・地球科学系のデータ活動を行ってきたが、WDS では扱うデータの範囲を自然科学全般から人文・社会系科学分野まで拡大することを目指している。WDS では以下の目標を掲げている。

- * 科学データ・情報提供・利用の平等性の確保
- * データ・情報の安定した提供により、ICSU が推進する事業をサポート
- * データの品質標準を定める
- * WDS に参加するデータセンター等の評価システムを作る
- * データ利用システムの整備
- * データ利用の簡便化を図る
- * 品質管理されたデータ・情報の提供
- * 国際的な情報格差の軽減

現時点では約 100ヶ所のデータセンターが関心を示しており、正式な加入申請が開始されたところである。また 2011 年より WDS の国際事務局 (WDS-IPO) が情報通信研究機構 (NICT) に設置されることになっており、同年 9 月 3-6 日には、京都市において WDS の科学シンポジウム (<http://wdc2.kugi.kyoto-u.ac.jp/wds2011/>) が開催される予定である。

Keywords: ICSU, Data, international collaboration